

図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシ成虫誘殺数の推移

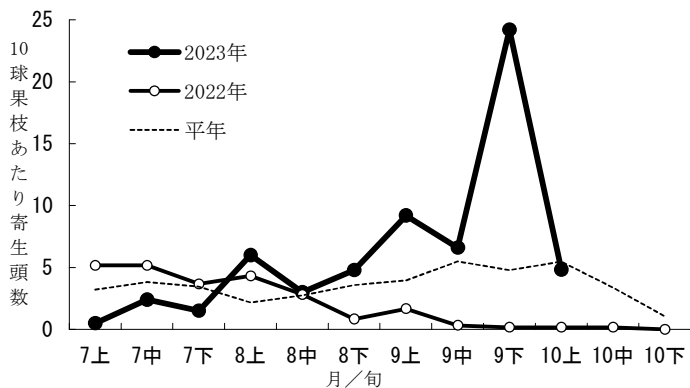


図3 ヒノキ球果枝におけるチャバネアオカメムシ成虫寄生状況（5地点平均）
 ヒノキ球果枝に網をかぶせ、たたき落としたチャバネアオカメムシ成虫数（1地点当たり10球果枝合計の平均）

4 防除対策

- (1) 果樹園の内外を見回り、発生を認めたら直ちに防除する。特にヒノキ・スギ林に隣接する果樹園は、急激に発生が増加することがあるため注意する。また、台風通過後に飛来が多くなる場合があることにも注意する。
- (2) チャバネアオカメムシには黄色防蛾灯が有効とされている。
- (3) カメムシ類に適用のある防除薬剤を下表に示した（令和5年度県病害虫雑草防除指導指針等掲載農薬）。なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し使用基準を遵守する。

表 防除薬剤例（○は登録あり、2023年10月4日現在の登録）

薬剤名	IRACコード	農薬登録の有無		
		カンキツ	カキ	キウイフルーツ
キラップフロアブル	2B		○	
アクタラ顆粒水溶剤	4A	○	○	
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	4A	○	○	○
ダントツ水溶剤	4A	○	○	○
モスピラン顆粒水溶剤	4A	○	○	
アグロスリン水和剤	3A	○	○	
アグロスリン乳剤	3A	○		○
アーデントフロアブル	3A		○	
テルスター水和剤	3A	○	○	
テルスターフロアブル	3A	○	○	○
ロディー乳剤	3A	○		

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
 〒259-1204 平塚市上吉沢1617
 TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>